

まぶち清和後援会だより

編集責任者/馬淵 清和 敦賀市柳川31-7-3 TEL.0770-21-3325 E-mail ma-bu@rm.rcn.ne.jp (発行日) 2008年5月

まぶちの市政活動!!

皆様の温かいご支援を頂き、敦賀市議会の壇上に立つことが出来、早一年が経ちました。今日に至るまで、大変お世話になりました。誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。これからも、市民の代表として、見聞を広め、向上心を保ち、市政活動に全力で取り組んで参ります。さて、一年目の議員生活が終わりました。日々、勉強。日々、努力。であります。これから敦賀市も行政改革街づくりにより急に取り組まなければなりません。他市に遅れを取ってはいけません。敦賀市も年々財政が厳しくなっている事は、皆さんご承知の通りだと思います。まさに、今、何をしなければならぬか、正念場を迎えております。先人が築き上げてきた歴史、文化を守り、後世の為に、何が出来るか、何をすべきか、よく考えなければなりません。

■子育て支援をするために!
敦賀市には、親子でふれあいが持てる場所がありません。昭和四十年頃、松原公園にあった、小さな水族館、野鳥園や五十円のミニゴーカートを思い出しました。遠くへ行かなくても、近くにあれば、子供を連れて、出かける場所があってもいいと思います。動物園なら、危害の与えない、ロバやヤギなど又、水族館なら敦賀湾近海で獲れる、鯛やハマチなど漁師さんに提供していただければどうでしょうか。敦賀湾には、百種類程の魚介類がいるそうです。小さい規模で中身のある即ち敦賀市独自の施設も新たに造るのではなく、今ある建物を有効活用し、維持管理もボランティアで、なるべくお金を掛けない方法で、ミニ水族館、ミニ動物園はどうでしょうか。動物を見た、触ったりすることで、生き物を大切にすることが養われ、子供の情操教育にも役立つと思います。又、その場で、いろいろな、イベントをする事によって飽きることもなく、



柳川会館にて市政報告会

人が集まり、賑わいが出来ると思います。そこには、親子ずれや、おじいちゃん、おばあちゃんも孫達と、そして、カップルや、地元や周辺の、幼稚園、小学校の遠足のスポットとして、そして、七万市民の身の丈に合った敦賀にしかない、市民に満足して頂けるものはどうでしょうか。想像するだけでも夢がふれあえる施設も出ています。市内周辺には親子については、行政も調査、研究し、敦賀っ子が夢と希望を持つ施設を造ってほしいものです。柳川の現状は、流下能力が低い為、百五十ミリ以上の大雨が降れば、氾濫します。沿線の住民の方はもつと問題意識を持って積極的な行動が必要ではなでしょうか、そして、行政は責任を持って市民に現状をいち早く分かりやすく知らせる事が、大切だと思います。なぜなら、水害に遭えば、何の保証もないのです。予定されようとする改修計画も本当に敦賀市の将来の為になるのでしょうか。安全安心の為、大改修を実施し、嶺南で初めての本格的な河川公園を新設してはどうでしょうか。市民生活を守る上での妥協や諦めは考えられないと思います。「天災は忘れた頃にやってくる。」です。

■最終処分場抜本対策工事始まる!

最終処分場の抜本対策工事が始まりました。皆さん、ご存知の通り敦賀市民のゴミは入っております。しかし、工事費の負担金(敦賀市分)は、六億八千万円もあります。そして、あの工法で果たして本当に漏水が止まるのでしょうか。疑問です。先の、三月議会では、工事費用約半額の工法を私は提案しました。それは、自然流下方式で行う工法です。この工法を活用すれば、県の言う百二億円の約半額の五十億円位で済むと思います。そして、引き取り手のない跡地を無償で払い下げてもらって有効活用し、敦賀市の処分場を造る計画にはいかがでしょうか。水処理施設も今回工事で造る予定の施設を転用する事も可能だと思えます。即ち、負の遺産を市の資産

■平成19年第3回敦賀市議会定例会一般質問(6月)

- 子育て支援について
 - 親子でふれあう場所の新設(ミニ動物園、ミニ水族館等)
- 安心安全に暮らせるまちづくりについて
 - 国道8号敦賀バイパス19区完成後の取り組み(東浦地区の道路整備)
 - 国道8号白銀-岡山間、県道敦賀美浜線の白銀-三島間の歩道の新設
 - 学園線の整備状況(RCN前通り)
 - 二級河川筥の川及び木の芽川の整備と治水安全度
- JR敦賀港線の今後について
 - 環境に優しい輸送手段としての活用
- 敦賀市防災行政について
 - 指令台への住民基本台帳取り入れ
 - 地図情報



■平成19年第4回敦賀市議会定例会一般質問(9月)

- ミニ動物園、ミニ水族館等の新設について
- 原子力発電所の地域振興策としての筥の川改修について
- 原子力発電所と市民の安全安心について
- 自主防災組織の整備と耐震について
- 交通弱者に配慮した優しい道づくりについて

■平成19年第5回敦賀市議会定例会一般質問(12月)

- 敦賀のまちづくりは筥の川水系の河川整備にあり
 - 河川整備計画(案)の住民説明に対する質疑応答内容等について

■平成20年第1回敦賀市議会定例会一般質問(3月)

- 筥曲地区民間廃棄物最終処分場の抜本対策工事について
- 市立敦賀病院の今後のあり方について

に出来る事を提案しました。又、この工事は税金によって実施されますが、未だに、市民に説明責任を果たしていない事です。工事がなければ、これら、税金は教育や福祉などに有効に使う事が出来ると思えますが、皆さんはどう感じられますか。搬入は終わりましたが、市民の負担は、これから始まるのです。以上、一般質問の一部を紹介させて頂きました。左記別枠の通り、市立敦賀病院の今後のあり方や、原子力発電所と市民の安全など、その他にも幾つか質問しました。現実、各地の自治体でも財政力に陰りが見える時代です。敦賀市におきましても、何が必要で、何が不必要なのかの峻別をしっかりと、しなければならぬ時期にきている事を忘れてはならないと思えます。市民の皆さんも、今、以上に市政に興味を持って頂きたいと思えます。最後になりますが、私も二年目に入りました。一歩、二歩と今以上に、向上出来る様、生まれ育った敦賀の活気あるまちづくりに一生懸命取り組んで参る所存でございます。今後共、皆様方のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願致します。

筥曲産業廃棄物工事費用負担割合表

全体工事費用101億8千万円 (101.8億円×7割=71億2千6百万円)		
負担割合	国 費 39億円	福井県民一人当たり 5,177円①
	県 費 42億4千万円	敦賀市民一人当たり 9,962円②
	敦賀市 6億8千万円	敦賀市民負担分(①+②) 15,139円③
	関係自治体 13億6千万円	関係自治体分が未回収の場合、敦賀市民負担分 19,924円④
		敦賀市民一人当たり、関係自治体分負担(③+④) 35,063円
合計 101億8千万円		*人口世帯数は、平成20年度版県民手帳引用。(敦賀市民68,258人、県民818,975人)

ご挨拶

まぶち清和後援会 会長
堤 腰 昭

若葉のあざやかな季節となりましたが、皆様にはご健健にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、昨年、四月に施行されました敦賀市議会議員選挙に際しましては、多大なるご支持ご支援を賜り誠に有難うございました。結果は高得票で当選することが出来、これもひとえに後援会の皆様のお陰と深く感謝申し上げますところでございます。重ねて厚く御礼申し上げます。

馬淵議員も一年生議員ながら精力的に議会活動に取り組み、一般質問にも度々立つなど、幅広く活動いたしております。また、選挙前に皆様にお約束致しました公約実現に向け、一歩一歩前進できるような努力を重ねております。何卒、今後とも宜しくお願い申し上げます。

時節柄、ご自愛のほどお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

ふれあいの場所

浜野 一 政

昨年の、4月から2月までの第4日曜日、朝6時より「井ノ口川を綺麗にする会」の草刈の奉仕作業に参加しました。予備知識が全くありませんでしたが、草刈り機を使い、刈り始めると思っていたより簡単でした。しかし、慣れないせいか腰が痛くなりました。又、普段は気にならない場所ですが、一ヶ月、経てばこんなに早く草が伸びてしまうのかと、ビックリしました。当初は3人で作業をさせてもらってましたが、人数の補強を図り同級生に声をかけ新たに3人増え計6人になり、井ノ口川会長さんより「若い人が増えて嬉しい」と言って頂きました。今後も奉仕の心を忘れず、きれいな街づくりに取り組みたいと思います。



草刈の感想

- 私も草刈の経験は初めてでしたが、河川管理の大切さや、地元の川を守る事の大切さを会長さんや皆さんに、教えて頂きました。又、汗を流した後の、おにぎりは、格別！河川公園は日頃は子供達や散歩をする人など市民の憩いの場所です。これからも、きれいな川を目指しましょう。今日も、井ノ口川は、櫛川の中を通り静かに教賀湾に流れています。

まぶち倶楽部 開始!

皆さんと、意見交流会、まぶち倶楽部を始めます。活気ある、明るいまちづくりを目指し、皆さんの多数の参加を、お待ちしております。

○7、10、1、4月の第1土曜日 ○事務所にて18:30~20:00

※上記、予定は変更の場合もありますのでご了承ください。

委員会担当

- 産業経済常任委員会 副委員長
- 環境保全対策特別委員会 副委員長
- 議会だより編集委員会 副委員長

07年夏活動報告

金 生 敏 郎

みなさん、こんにちは。私は野神に住む金生敏郎と申します。今回この紙をお借りして07年夏に馬淵議員と町を歩いたときのレポートをお伝えします。

私自身、普段は白杖(ハクシヨウ)を使って外を歩いている視覚障がい者です。以前は黒いフラットレトリバーの盲導犬と一緒に外を歩いていたので、もしかしたら見かけたことのある方もおられるのではないのでしょうか？盲導犬として白杖と同方外を歩いた経験から、普段歩いている道を馬淵議員とともに視覚障がい者と歩行者の立場でチェックをしました。コースは、野神平安閣前の県道からポートン前、敦賀市役所前から木崎通り、そして合同庁舎前を通り我が家へ戻る道でした。すべて歩道はあるのですが、雑草が生い茂り白杖に絡みついたり、歩道の真ん中付近にカーブミラーが立っていたりと歩き始めて数分でそのような状況となりました。馬淵議員には、視覚障がい者の視点、車椅子使用者の視点など、いろいろな方面からの歩道状況をイメージしながら歩いてもらいました。

そして、さらに進んで行くと、歩道ではありますが、アスファルトの舗装が傷みが激しく、杖先にひっかかりたり、歩道上の違法駐車車両などを見てもらいました。さらに、歩きつつ点字誘導ブロックの重要性を伝えながら、実際の点字誘導ブロックの敷設状況と、点字誘導ブロックを使っての白杖単独歩行を見ていただきました。点字誘導ブロックは、歩いた道のりの半分以下でしたが、市役所前歩道などには、きちんと整備されておりました。

歩道自体の整備の必要性をも再確認しました。

また、点字誘導ブロックに関しては、敷設はしてあるが、車の出入りの多い部分はブロックの凸面が薄くなるので、足裏の裏で凸面を感じる事ができず、誘導ブロックの役割を果たしていない部分も多くみられました。点字誘導ブロックのある歩道と、敷設されていない歩道の両方で白杖での単独歩行の様子も見てもらいましたが、ブロックのある歩道とない歩道とは歩く早さが全く違うという感想でした。

また、市役所前の歩道については、点字誘導ブロックはないし、そのうえ建物側の側溝に蓋すらしていない部分も多く、視覚障がい者が踏んで足をふみはずすと危険な歩道がそのまま放置されているという現実をみてもらいました。

視覚障がい者にとつての点字誘導ブロックの大切な役割。そして、歩道の幅幅と綺麗な舗装は車椅子使用者への配慮など、短い時間でしたが、馬淵議員には蒸し暑い中あせを滴らせながらではありますが、歩道使用者の視点を感じてもらいました。

敦賀市内にある歩道の、本当に極一部の道でしたが、自動車の視点ではなく、歩行者、障がい者の視点からみても、まだまだ十分な点も多く、今すぐにも取り掛かれるような改善点もみつかりました。

今後は、このような時間を再度持てれば馬淵議員も同行をお願いしたいとも感じます。歩道について見ても多様な視点を持って観察する目を持って議員活動に役立てていただきたいと思っております。

一緒に歩いた道

視覚障がい者が、これほど不自由しているのかと体験して感じました。点字ブロックが有る所と無い所では、歩く早さが倍以上、違いました。又、当日は天気も良く、歩いている間に二人で雑談をしながら歩いていきましたが、点字ブロックの無い所に来ると彼は無口になりました。なぜなら、彼は次の歩く方向を、探さなければなりません。私は何度も彼に「こっちや」「危ないで」とか口から出かりましたが、くっつくのを嫌がりました。ふたたび、一人で病院や買い物にいかなければなりません。点字誘導ブロックの無い所に来ると彼は、白杖を叩きながら方向を決め不安そうに歩かなければなりません。

二時間位歩いた中で、いろいろな事を教えてくれました。視覚障がいを持つ彼ですが、決して、自分の事だけでなく、車椅子の方は、危険であるとか、通りにくいなど、他の障害の方の気持ちも、も分かっているのです。そこで後日、私は県土木事務所に出向き、点字ブロックを敷設して頂く様にお願しました。その結果、1ヵ月後には短い区間で、点字誘導ブロックを敷設して頂きました。予算の関係もあると言いつつ、ことでしたが他の事を削減してでも、歩道の整備は大切で、障がいを持つ方や子供やお年寄りが安心、安全に歩いて頂く為に、早急に他の場所も整備していただきたいと思っております。

例えば、歩道については、駅を降りて、白銀交差点まで来ます。本町の方向はきちんと歩道は整備されています。しかし、平和堂の横を通って市役所に行く方と、八号線のプラザ萬家の方は、都市計画道路になって何十年も経つていますが、未だに歩道がありません。本町の方は、大変綺麗に整備されているのに、市役所に向かうメイン通りには歩道が無い所があります。このことについては、国道が県道に払い下げになる前に、早急に、整備して頂き安全、安心に通学や通勤が出来るようになるればと私は思います。事故が起つてからでは「遅い」のです。この事については、議会でも私は強く訴えました。また、また、市内の歩道整備に関しては、十分ではありません。この事は市民生活において重要です。住んで良かったまちづくりは、私の構想でもありです。行政は、良かったまちづくりは、私の構想でもありです。行政は、良かったまちづくりを早急に計画を立て、交通弱者の為に、実施して頂きたいと思っております。これからも、彼とは、歩きますが、歩いて見て町の様子が、よく分かりました。見えませんが、見える。私にまちづくりの原点を教えてくださいました。又、歩くので金生君。

